

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公表番号】特表 2005-522726 (P2005-522726A)

【公表日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2005-029

【出願番号】特願 2003-584155 (P2003-584155)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

B 2 9 C 55/02 (2006.01)

C 0 8 J 7/12 (2006.01)

B 2 9 L 11/00 (2006.01)

C 0 8 L 29/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

B 2 9 C 55/02

C 0 8 J 7/12 C E X Z

B 2 9 L 11:00

C 0 8 L 29:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 8 日 (2006.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原長を有し、ヒドロキシル化された直鎖状高分子量ポリマーを含むポリマーシートから偏光子を作製するための方法であって：

前記ポリマーシートを、原長の 5 . 0 倍を超えて約 7 . 0 倍までの延伸長に延伸させる工程；

前記ポリマーシートに適切な脱水触媒を導入する工程；および

前記ポリマーシートと前記触媒とを加熱して、前記ポリマーシートの部分脱水をさせ、吸光性のビニレンブロックのセグメントを形成させる工程；を含む方法。

【請求項 2】

前記導入工程が、

酸供与層を前記ポリマーシートに近接させて設ける工程；および

前記酸供与層を放射エネルギーに暴露して、1 種または複数の酸分子を放出させる工程；を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ポリマーシートを高温下でのホウ素化処理にかけることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記延伸および加熱されたポリマーシートを 0 % から約 7 0 % までの延伸長に一方向伸長させることをさらに含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ホウ素化処理温度が少なくとも約 80 である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ホウ素化処理が、前記ポリマーシートを、ホウ酸を含む水溶液と接触状態に置くことを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

少なくとも 1 種の二色性染料を前記ポリマーシートに添加することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

原長を有し、ヒドロキシル化された直鎖状高分子量ポリマーを含むポリマーシートから偏光子を作製するための方法であって：

前記ポリマーシートを、原長の約 3 . 5 倍から約 7 . 0 倍までの延伸長に延伸させる工程；

前記ポリマーシートに適切な脱水触媒を導入する工程；

前記ポリマーシートと前記触媒とを加熱して、前記ポリマーシートの部分脱水をさせ、吸光性のビニレンブロックのセグメントを形成させる工程；

前記ポリマーシートを少なくとも約 80 の温度でホウ素化処理にかける工程；および

前記ポリマーシートを 0 % から約 70 % までの延伸長に一方向伸長させる工程；を含む方法。